

さくらみ川

臨時号 平成十八年十一月一日

熱日高彦神社社務所

電話 〇二四 六一 〇四一

<http://hitaka.org> atuhitaka@hitaka.org

祝

熱日高彦神社創祀千九百年記念

社殿並境内修繕事業竣工奉告祭

竣工奉告祭のご案内

熱日高彦神社創祀一九〇〇年をひかえ、先ずもって行って参りました社殿ならびに境内の修繕事業が、まもなく竣工いたしました。これも氏子崇敬者みなさまのご奉賛の賜物と深く感謝申し上げます。

竣工にともない、新嘗祭に併せて正遷座祭、竣工奉告祭を執り行います。

正遷座祭は二十二日の夕刻、社務所での祭典ののち、古式にのっとり神職、神社関係者や工人たちが行列を整え、浄暗のなか御神体を修繕整った御本殿へおうつしいたします。数百年に一度の神事となります。寒くなる時期の夕刻ですが、テントや暖房も準備いたしますので、ぜひ拝観ください。

竣工奉告祭は二十三日、新嘗祭に併せて大祭として行います。祝賀行事として、整備された境内広場に舞台を設け、雅楽、巫女舞、神楽を奉納いたします。直会は、ささやかですが同広場で立食形式で行います。氏子の皆さんには、各区総代さんが案内状をお持ちします。ぜひご参拝いただき、立派に出来上がった社殿にお参りし、整った境内で秋の一日をお過ごしください。

なお、併せて禰宜昇級奉告祭も執り行います。また、お神酒をお召し上がりになる方は、自動車での参拝はご遠慮ください。



正遷座祭

はつせんざい せんぎよのぎ
(発遷祭) 遷御儀 正遷座祭)

平成十八年十一月二十二日(水)

午後六時斎行

社務所から石段を経由して社殿まで

新嘗祭

修繕事業竣工奉告祭

禰宜神職身分二級昇級奉告祭

平成十八年十一月二十三日(木)

午前十一時斎行 社殿及び境内広場

神賑行事 雅楽、巫女舞、お神楽

直会(祝賀会) 広場にて立食形式

事業の成果をご覧下さい

修繕終えた社殿・境内を祭典前に公開



本殿の階段は既存のものを削って使用し、交換した構造材も従来の寸法を再現

御神体をお遷しする正遷座祭を前に、十一月十九日(日)午後一時三十分より四時まで、社殿ならびに境内を一般に公開いたします。

みなさまの浄財により成しえた歴史的工事成果を、実際つぶさにご覧いただき、ご納得いただきたいと思います。

また、文化財として見る価値があることはもちろんです。さらに、御座や天井まで新しくなった本殿内はこの機会にしかご覧いただけませんし、この工事で発見された貴重な品々も展示いたします。

お被いののち、神職や総代がご案内、ご説明いたします。ぜひお越しください。

事業だより

境内に新たな祭祀施設

いみじくも はらえど

斎火所と被所新設

境内の大幅改装に併せて、祭祀をより厳かに行うための施設を新たに設けました。

一つは斎火祭(とんど祭)に火を燃す斎火所。二区の森隆さんからご奉納いただいていた石を使って、竹内組の技術により完成しました。吸気と排水を兼ねたパイプまでついた優れたもの。



もう一つは被所。お祭に際し、神殿に上がる前に神職や総代が被えをする場所です。山家隆さんの指導、協力のもと、佐藤勝征環境整備担当部長らの努力で作られました。今までは祝詞座の横に被えの場所を設けていましたが、これからはより厳肅な方たちでお祭ができるように思います。

各工人が工事の一部を奉納・奉仕

佐善工務店は拝殿に床暖房装置、畑中工務店は社殿前の石畳、竹内組は参道工事の一部などご奉納下さいました。このほかにも工人の皆さんには、奉仕的、献身的に工事に取り組んでいただいております。このことにつきまして、竣工奉告祭にあわせ感謝の意をお伝えたいと考えています。

拝殿の傾きを調整

今回の建物工事の最後に着手した拝殿ですが、わずかに南西に傾きが生じていることがわかっていました。修正の可否など検討してきましたが、床張や回廊取替え工事に支障が出るかと判断し、補正工事を施すことに決めました。北西の本柱で四〇〇mm持ち上げます。

修繕は予想以上に手間がかかると言われてますが、つぶさに見たつもりでも、数百年の歲月は外見以上に建物を傷めていました。氏子内外のご奉賛と工人の努力により、何とかそれを克服して参りました。この機を逸して以後は無かつたと、胸をなでおろしております。

今後、大神様の御神威がさらに増すことは疑いの無いことと思います。また、日々のお参り、祭典やご祈祷に、皆さまを安心してお迎えます。どうぞ、うれしく思っております。